

【実践報告】

公立小・中学校教員採用試験などに向けた取組の実際

広島文教女子大学人間科学部

初等教育学科 准教授 佐 伯 育 郎

1 平成28年度・教員採用試験対策チャレンジセミナーの実際

本学では、学生からの要望に応える形で教員採用試験対策チャレンジセミナーを行っている。開催する時期により、春期休業中セミナー、前期セミナー、二次試験対策セミナーに大別できる。正規の授業ではなく、課外で行われる自由参加型のセミナーであり、学生の要望に答える形で本学教員によって開催されることを前提としており、学生の主体的な学びを支援するものである。以下、今年度の取組について報告する。

1.1 春期休業中セミナー

春期休業中には、教員採用試験対策チャレンジセミナーが実施された（表1）。3年生のセミナー代表が事前に開講希望講座を検討し、教員への依頼・調整を行い、時間割を組む（表2）。初等教育学科教員を中心として、人間福祉学科教員による講座も開催されており、全学的な取組となっている。

【表1：春期休業中セミナー一覧】

内容	担当	詳細
国語	岡	学習指導要領の解説、板書指導
国語	橋村	学習指導要領の解説
算数	今崎	学習指導要領の解説
社会	村上	学生が苦手とする単元（事前調査に基づく）の解説
理科	高橋	学習指導要領の解説
体育	川西	学習指導要領の解説、実技の指導
音楽	大野内・善本	学習指導要領の解説、弾き歌い、声楽、リコーダー、ピアノ
図画工作	佐伯	学習指導要領の演習・解説、デッサンの実技・ポイントの指導
道德	村上	学習指導要領の解説など
総合	高橋	学習指導要領の解説
特別活動	今崎	学習指導要領の解説
総則	今崎	学習指導要領の解説
教育法規	杉山	教育法規に関する穴埋めの問題の演習、解説
教育原理	徳本	過去問の解説
教育心理学	牧	過去問の解説
特別支援教育	木村・李木	特別支援教育についての講義
集団討論	徳本・佐伯	集団討論の演習、ポイント
グループワーク	森	グループワークのポイント
自己PR・願書の書き方	村上	書き方のポイント解説
答申・通知等	今崎	答申・通知の解説、学習のポイント
論述形式問題書き方	森下	過去問の解説、書き方のポイント

【表2：春期休業中セミナー時間割】

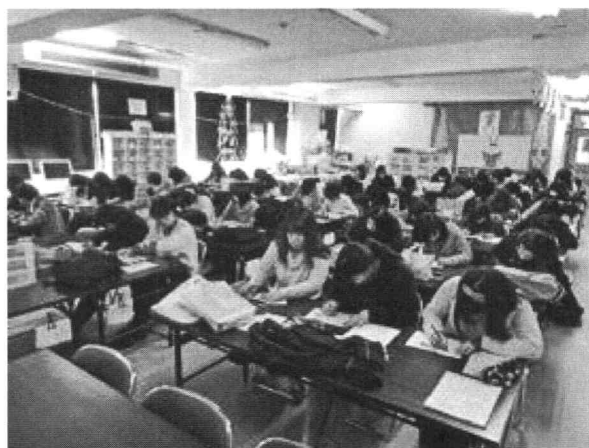
	2/15 (月)	2/16 (火)	2/17 (水)	2/18 (木)	2/22 (月)	2/23 (火)
1 コマ						集団討論 佐伯・徳本
2 コマ	スタート会	教育心理学 牧		音楽 大野内		論述形式問題 森下
3 コマ	グループワーク 森		広島県人会	声楽・リコーダー・ピアノ 大野内	図工・理論 佐伯	総合 高橋
4 コマ	図工・デッサン 佐伯	体育・指導法 川西			算数 今崎	体育・実技 川西

	2/24 (水)	2/25 (木)	2/26 (金)	3/ 1 (火)	3/ 2 (水)
1 コマ	答申・通知等 今崎	特別支援教育 李木	特別活動 今崎	社会 村上	国語・板書 岡
2 コマ	理科 高橋	特別支援教育 李木	総則 今崎	道徳 村上	教育法規 杉山
3 コマ	教育原理 徳本 広島県人会	特別支援教育 木村		自己PR 村上	体育・指導法 川西
4 コマ	体育・指導法 川西	特別支援教育 木村		国語 橋村	反省会

【写真1：春期スタート会】



【写真2：春期・図工セミナー】



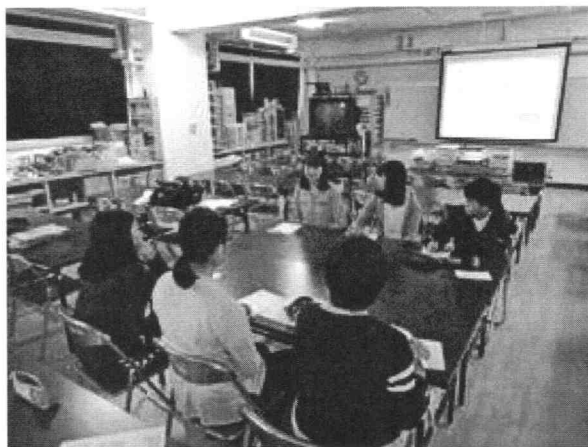
1.2 前期セミナー

4年次前期，授業や卒業研究などと並行して教員採用試験対策チャレンジセミナーも行われる。セミナー代表が事前調査を行い，全員が参加できるよう時間割を組む。表3・4以外では，国語系教員やゼミ担当教員による小論文・自己PR文の添削指導等，時間割にない支援も随時行われている。

【写真3：前期・図工実技セミナー】



【写真4：前期・集団討論セミナー】



【表3：前期セミナー一覧】

内容	担当	詳細
グループワーク	森	グループワークの演習
図画工作	佐伯	図工の理論問題の演習，デッサンの実技・ポイント
集団討論	佐伯	集団討論の演習，ポイント
体育実技	川西・体育専修学生	体育館・運動場での実技演習
理科	高橋	過去問の解説
音楽	大野内	音楽の実技
答申・通知	岡	答申の解説

【表4：前期セミナー時間割】

	月	火	水	金	土
1 コマ			図画工作 佐伯		答申・通知 岡
2 コマ			体育実技 川西		
3 コマ	音楽 大野内	理科 高橋		集団討論 佐伯	
4 コマ		グループワーク 森			

1.3 二次試験対策セミナー

7月13日にスタート会を実施し、取組への意欲を高めた後、夏期休業に入ると二次試験対策セミナーを本格的に開始する。

【写真5・6：夏期スタート会の様子】



二次対策の内容は、模擬授業、面接練習（表5）、集団討論、音楽実技（表6）、体育実技等である。事前にセミナー代表が教員のところへ出向き、模擬授業と面接指導の担当時間を決める。セミナー代表が表を作成し、希望する時間帯に学生が名前を記入する。1コマにつきおおよそ4人以上の学生が参加する。複数の教室を使用して模擬授業と面接指導を同時展開している。下記の一覧以外での支援も、随時行われている。

【表5：二次試験対策セミナー一覧】

	8月1日（月）		8月2日（火）		8月4日（木）		8月5日（金）		8月6日（土）	
	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬
1			佐伯		田中	村上	牧	村上	佐伯 高橋	今崎
2			佐伯		田中	佐伯	牧	佐伯	佐伯	今崎
3	森		田中	森	田中	森	田中	森	森下	今崎
4	佐伯		田中		田中		田中		森下	今崎

	8月7日（日）		8月8日（月）		8月9日（火）		8月10日（水）		8月11日（木）	
	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬
1	今崎		佐伯				今崎	佐伯	今崎	
2	今崎		佐伯				今崎	佐伯	今崎	高橋
3	今崎			佐伯	白石	森		今崎 森	森下	今崎 佐伯
4				佐伯	白石			今崎	森下 高橋	今崎

	8月12日（金）		8月13日（土）		8月15日（月）		8月16日（火）		8月17日（水）	
	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬
1	今崎	森下	佐伯		佐伯	森下 今崎		森下	佐伯	今崎
2	今崎	森下	佐伯	今崎	佐伯	森下 今崎		森下 今崎	橋村 白石	今崎
3	森下	今崎	今崎	佐伯	森下 今崎		森下 今崎		今崎	
4	森下		佐伯		森下 今崎		森下 今崎			

	8月18日（木）		8月19日（金）		8月22日（月）		8月23日（火）		8月25日（木）	8月26日（金）
	面接	模擬	面接	模擬	面接	模擬	面接	面接	模擬	
1	田中 牧	村上		高橋					牧	田中
2	田中 牧		田中 高橋	高橋	森下					
3			森	森下		村上	高橋			
4						村上				

【表6：二次試験対策・音楽実技セミナー一覧】

日程	大野内	善本
8月1日（月）	11名	2名
8月2日（火）	9名	5名
8月3日（水）		8名
8月4日（木）		3名
8月5日（金）		2名

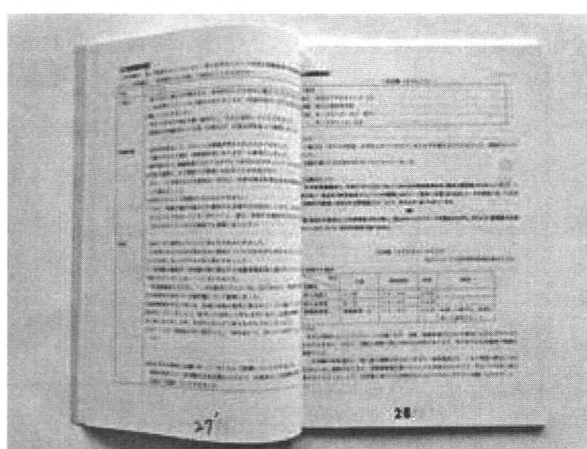
日程	大野内	善本
8月 8日（月）	11名	
8月 9日（火）	5名	
8月10日（水）	14名	11名
8月13日（土）	13名	
8月17日（水）	12名	

2 「顔晴り（がんばり）」の取組の実際

2.1 教員採用試験等報告書「顔晴り」

「顔晴り」とは、教員採用試験等報告書のことである。従来通り学生が主体の取組ではあるが、教職センターが関与しており、全学的な実践となりつつある。

【写真7・8：教員採用試験等報告書「顔晴り」】



今年度の報告書は128頁で、チャレンジセミナー、自治体ごとに行われた学習会、ゼミ単位での学習会、小学校教員採用試験、栄養教諭採用試験、一般企業採用試験と非常に幅広い内容となっている。各試験に向けた学習方法、採用試験の実際、後輩へのアドバイスが詳細に記述されている。卒業生が受験した小学校教員採用試験についても掲載されている。

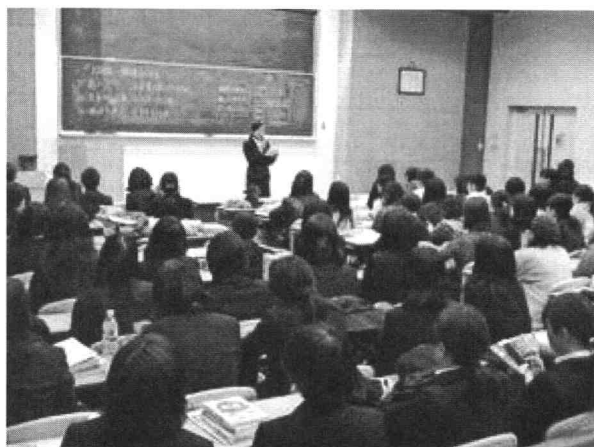
この報告書は、学年を問わず希望する学生に配付しており、教員採用試験等の受験を考えている学

生にとって貴重な資料である。指導・支援する上で、教員にも非常に役立つ資料である。

2.2 教員採用試験等報告会「顔晴りの会」

「顔晴りの会」とは、教員採用試験等報告会のことであり、今年度は11月25日（金）5コマ目に641教室で実施された。例年通り、全体会、分科会の2部構成で行われた。

【写真9：「顔晴りの会」全体会の様子】



【写真10：「顔晴りの会」分科会の様子】



全体会では、教職センター長による挨拶の後、小学校教員採用試験を受験した学生3人、一般就職をした学生1人からの報告が行われた。

分科会では、広島、島根、愛媛、九州、その他の自治体、一般就職の6ブースに分かれて、教員採用試験報告書に沿って自治体の傾向に沿った学習方法等の報告、質疑応答が熱心に行われた。1年生から4年生を含めて150人程度の参加者があった。

3 平成28年度実施公立小・中学校等教員採用試験の結果

平成28年度に実施された公立小・中学校等教員採用試験の結果は、表7の通りであった。

【表7：公立小・中学校等教員採用試験の結果(判明分)】

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		栄養教諭		計
	在	卒	在	卒	在	卒	在	卒	在	卒	
神奈川県	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
島根県	5	2	0	1	0	0	0	0	0	0	8
鳥取県	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
広島県・市	23	15	0	2	0	0	0	0	0	1	41
山口県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
愛媛県	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
佐賀県	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
長崎県	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
熊本県	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
私立	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	35	28	1	3	0	0	0	0	0	1	68

4 成果と課題

平成28年度は「顔晴り」冊子の裏表紙には教職センターと記述されており、このことから全学の取組であることが定着してきたことがわかる。学生主体による運営を維持しながらも、教員による支援も手厚くなり、取組は充実してきている。例年通り、セミナー代表を中心として、学生自身も協働性・同僚性を生かした取組ができていた。卒業生も含めると、昨年度より合格者数も増加した。

しかし、課題も認められた。「顔晴りの会」では初等教育学科以外の参加者が少なかったため、学科・学年を越えた学生への広報もさらに充実させる必要がある。昨年度に比べて現役受験者の母数は多かったが、一次合格率は昨年度より下がった。二次合格率は上がったが、最終合格率は昨年度よりも微減であった。今年度の傾向としては、真面目な学生や教員から見ても大丈夫だろうという学生が不合格になっている現状があった。セミナーの出席率を教員がすべて把握しきれていないこともあるため、これまで以上にきめ細かな支援が必要になる。

教職センターの課題としては、学生の主体的な学びを大切にしながらも、教員の支援体制をより充実させる必要がある。多忙さゆえ、教員だけではカバーしきれないこともあるため、教職センターに常駐教職員が入ることが理想的であろう。二次対策期間中である盆休みには、寮が閉鎖されたため実家に帰らざるをえない状況や、特定の教室にしか冷房が入らず学内での居場所に困る状況も見受けられた。土台となる大学教育と教員採用試験対策に向けた取組の往還を今後充実させるとともに、大学全体で学生を支援していくような体制づくり、セミナーに参加しやすい環境づくりをさらに進めていかなければならない。

参考文献

- ・岡利道 他編『初等教育学入門』広島文教女子大学 初等教育学科 2009年
- ・佐伯育郎「公立小・中学校教員採用試験に向けた取組の実際」(『広島文教女子大学 教職センター年報 2015年第3号』広島文教女子大学教職センター, 2015年所収)
- ・佐伯育郎「公立小・中学校教員採用試験に向けた取組の実際」(『広島文教女子大学 教職センター年報 2016年第4号』広島文教女子大学教職センター, 2016年所収)
- ・初等教育学科33期生編『顔晴り』広島文教女子大学教職センター 2016年